

令和7年度環境活動報告

部局名: 社会システム経営学環

・初年次セミナー、社会システム経営入門ビジネス編、社会システム経営入門観光・まちづくり編、企業論、マネジメント活動実習などの授業を通じて、学生参加型の効果的な環境教育を行う。
・専門の授業を通じて、広い意味での環境に関する教育を行う。
・企業におけるSDGsやESGに関する取り組みや企業経営のあり方を考える教育を行う。
・地域や自治体・各種団体等におけるSDGsに関する取り組みや持続可能な運営のあり方を考える教育を行う。

・【高木朗義教授】

【授業】

「初年次セミナー」「リスクマネジメント論」「地域防災学」「まちづくりデザイン実習」「専門演習ⅠⅡⅢⅣ」「土木史」「リーダーシップ入門」「先端地域デザイン論」「都市防災デザイン論」「まちづくりリーダー入門」「放送大学」「プロジェクトマネジメント特論」「まちづくりリーダー実践」「農業経済学・経営学入門」「地域社会と災害」

【講演】

「本巣市防災士育成講座」岐阜地区消防連絡協議会研修「地域の人事部ギャザリング」
「地域創生カレッジin岐阜県飛騨市」「地域防災リーダー養成講座」

【メディア出演】「岐阜放送ラジオ」「たっぷりモーニング」

【学外授業】「岐阜大学教育学部附属小中学校防災ワークショップ」

・【後藤尚久教授】

【授業】

「財政学」日本の財政制度と財政政策の有効性について講義した。
「専門演習Ⅰ」トランプ関税や消費税減税の効果などについて学生と議論した。
「専門演習Ⅲ」卒業論文の準備について指導した。
「マネジメント活動実習」情報誌の作成・完成に向けて始動した。
「コーポレートファイナンス」企業の資金調達、投資行動について講義した。
「金融論」金融の仕組み、金融政策の効果などについて講義した。
「農業経済学・経営学入門」経済学的手法による農業の規制政策の効果について講義した。
「経営学入門」全共「経営学入門」の前半8コマを担当し、ファイナンスの基礎を講義した。

【学外授業】

出前講義 タイトル「現在価値と利子率」で出前講義をした。

・【三井栄教授】

【授業】

「環境マネジメントと環境経営」

全学共通教育前学期「環境マネジメントと環境経営」、環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。

【学外授業】

「観光デザイン実習2024-2025」

観光による地域づくりを目的に、実際にターゲット層を想定した上で持続可能となる観光振興策を提案するため、高山市を対象に観光事業者と連携してツアーを実施した(R7.8.7-8)。

「観光デザイン基礎」

観光による地域づくりを目的に、実際にターゲット層を想定した上で持続可能となる観光振興策を提案するため、高山市を対象に観光事業者と連携して実習を行った(R7.9.23-25)。

「観光学」

企業とのコラボレーション企画として、ターゲットを設定し「見る」「食べる」「買う」「イベント(体験)×回遊性を取り入れた高山市街地周遊ツアーの作成するため、飛騨地域の観光資源の見学と企業へのクーポンを依頼する実習(R7.5.18-19)を行った。

「マネジメント活動実習(企業編)」

名古屋証券取引所見学会と意見交換会を社会システム経営学環1年生30名と行った。名古屋証券取引所、7/23。名証IRエキスポにおける実習を社会システム経営学環1年生30名と行った。名古屋市中心企業振興会館吹上ホール、9/6。

「マネジメント活動実習(観光まちづくり編)」

情報誌「シャケカン2026」制作にあたり、岐阜市内において学外実習を実施した。10/24。

「マネジメント活動実践」

高山祭を題材に実習を実施した(R7.4.9)

ご協力者に対して成果報告会を実施した(R7.5.9)。

【講演】

「れいめい会」社会システム経営学環による新しい教育と地域ラボの役割 と題し、社会システム経営学環の取り組みと地域ラボの紹介をした。

・【加藤厚海教授】

【授業】

「経営学入門(はじめての経営学)」 「社会システム経営入門ビジネス編」 「リーダーシップ入門」 「アントレプレナーシップ論」 「ビジネスデザイン実習(フィールドワーク実践)」 「専門演習」 「社会システム経営学特論」

「事業創造特論」 「リーダーシップ特論」 「卒業研究」 「経営組織特論」 「経営組織論」 「組織行動論」 「ビジネス実習Ⅱ(赤須賀漁業組合にて実習)」 「マネジメント概論」 「オープンキャンパスオ(模擬授業)」

【学外授業】

高校訪問 江南高校において説明会を行った。

ドリコムセミナー 高校生相手の大学説明会に参加した。

【研究会等】

組織学会・中部部会 名古屋大学にて報告を行った。

【学会】

日本経営学会 西南学院大学にて学会報告を行った。

・【出村嘉史教授】

【授業】

「まちづくりデザイン実習」担当の柳ヶ瀬のまちづくり実習においては、岐阜市商店街振興組合連合会をパートナーとして、社会実験を通じたテラス実施のためのしくみづくりを指導した。

「環境デザイン(社会基盤工学科)」岐阜大学工学部社会基盤工学科3年前期の講義1コマ

「空間・文章表現」工学部社会基盤工学科2年生の講義、演習。空間表現部分を担当した。

「都市形成史」社会システム経営学環2年生の講義。

「社会システム経営実践」社会システム経営学環1年生の授業。中津川の駅前をサイトとして、空間デザインを含めたエリアマネジメントの課題を提示して、成果を中津川と岐阜大をつないで発表した。

【学外授業】

「岐阜市の未来を共に考えるワーキンググループ」岐阜市主催の政策づくりワークショップ「岐阜市の未来を共に考えるワーキンググループ」を企画・運営・指導した。

【学会】

国際学会 The 2nd International Sociohydrology Conferenceに出席し、ポスター発表と討議を行った。

国際セミナー Workshop on Urban Rivers Historyに参加し、発表と討議を行った。

【研究会等】

「街の芽ゼミ」一宮市・稲沢市における木曾川とまちづくりの勉強会に参加し、講演・ファシリテーションを行った。

「岐阜大・京都大合同研究会」岐阜大学の都市・景観研究室と、京都大学の景観研究室が合同で実施した研究会。関連諸研究の題材に対して、議論を行った。

【学外授業】

「風景塾2025」風景塾実行委員会(中部地方のデザイン系教授リーグ、出村が委員長)による実践型研修プログラム風景塾を企画・実施。

【審議会等】

「沼津市興国寺城整備調査委員会」興国寺城跡(遺跡)の整備調査委員会の委員として審議を行った。

【学生】

興国寺城史跡整備デザイン 関連委員会の進行に基づき、研究室所属学生らがサイトデザインの提案を実施した。

【審議会等】

「各務原市文化財審議会」各務原市の文化財審議会にて、同市の文化財保存、環境づくりの審議を行った。

「岐阜市みんなの森ぎふメディアコスモス運営委員会」岐阜市みんなの森ぎふメディアコスモス運営委員会に出席し、この場所の運営に関する議論を行った。

「名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会」名古屋市の名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会に出席し、当該受賞者の選定に関して実地踏査と議論を実施した。

【研究】

「STICHTING Blauwe Lijn」オランダの財団が発行する Stichting Blauwe Lijn へ日本の木曾川水系におけるJohannis de Lijkeの働きを、英語・オランダ語で紹介した。

「土木学会景観・デザイン研究発表会」土木学会景観・デザイン研究発表会へ、セッションの座長として参加し、当該分野の諸発表に関する議論を促した。

「景観デザイン」工学部で開講し、社会システム経営学環学生も受講する2年生向け講義。最終課題(長良橋通りの再編)の発表会を公開で実施。

・【篠田朝也教授】

【授業】

「演習Ⅲ」4年生対象に経営学・会計学領域に関連する卒業研究の指導を行う演習を実施した。研究のなかには、廃棄物削減などに関連する環境問題を取り扱うものもある。

「演習Ⅳ」4年生対象に経営学・会計学領域に関連する卒業研究の指導を行う演習を実施した。研究のなかには、廃棄物削減などに関連する環境問題を取り扱うものもある。
「会計学」学環1年生および地域科学部の学生対象に会計学の基礎的内容を教授する授業を実施した。授業内で環境会計に関する講義を行っている。

・【柴田仁夫准教授】

【授業】

「マーケティング論」「はじめての経営学(起業入門)」「はじめての経営学(経営学入門)」「社会システム経営入門ビジネス編」「専門演習」「ビジネスデザイン実習」「院・事業創造特論」「院・専門演習」「院・社会システム経営特論」「学部ゼミⅠ・Ⅱ」「経営戦略論」「コーポレートガバナンス」「農業経済学・経済学」「マネジメント特論」「マーケティング・デザイン思考特論」「マーケティング特論」「ビジネス実習Ⅰ・Ⅱ」「院・ゼミⅠ・Ⅱ」「非・地域活性化論」

【研究会等】柴田研究会

【学外授業】「中小企業論」、模擬講義、大学説明会

【学生】研究生の受入れ YCUセミナー

【審議会等】兼務先会議 地域連携会議

【学会】日本インターンシップ学会

【講演】日曜ラボ

・【李侖美准教授】

【授業】

「農政学」応用生物科学部の3年生の講義を行った。

「食料・農業政策学特論」自然科学技術研究科における大学院の特論ゼミを行った。

「世界の食料と人口問題」全学共通教育科目(前期)において講義を行った。

「アグリビジネス論」社会システム経営学環の3年生の講義を行った。

「まちづくりデザイン実習」社会システム経営学環の3年生の実習を担当した。

「フードシステム論」「旬楽膳」見学、(株)サラダコスモ見学

「まちづくりデザイン実習」社会システム経営学環の3年生の実習を担当した。"クリラボ" イベント開催。

岐阜県農業フェスティバル参加。

「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅳ」当研究室において専門演習を行った。

「社会システム経営実践」1年生 社会システム経営実践・中津川市訪問

卒業研究 山県市農泊協議会、養老町(農)三郷訪問、農事組合法人 おおが訪問、岐阜大垣・美濃路すのまた協議会訪問、小森産業訪問

【審議会等】

岐阜県農業関連施設 岐阜県農業関連施設現地支援会議

【研究】

研究会 農協研究会に参加

・【山縣弘忠准教授】

【授業】

「産学連携」産学連携による地域課題の解決を目指すPBLを学環1年次学生の実習として実践。

(産学連携先:イハラサイエンス株式会社)

「マネジメント特講」地域科学部の学生向け授業として、「モノづくり経営」に関する授業を実施(全3回)

「モノづくり経営学」学環1年生向けに、日本、とりわけ東海地域の基幹産業である製造業の現状の課題や今後必要な要素について外部講師の招聘も交え、実践的な知識、知見を教授した。

・【市来崙治准教授】

【授業】

「企業論」1年次(前学期)の「企業論」において企業環境、SDGsを取り扱った。

「まちづくりリーダー入門」全学共通教育科目(前学期)の「まちづくりリーダー入門」においてSDGs関連のテーマを取り上げた。

「技術表現法」2年次(前学期)の「技術表現法」においてSDGsについて取り扱った。

「生産管理論」3年次(前学期)の「生産管理論」において企業環境について取り扱った。

「専門演習Ⅰ」3年次(前学期)の「専門演習Ⅰ」において企業環境について取り扱った。

「ビジネスデザイン実習」3年次(前学期)の「ビジネスデザイン実習」において企業環境やSDGs関連のテーマを取り扱った。

「技術経営概論」4年次(前学期集中)の「技術経営概論」において企業環境について取り扱った。

「まちづくりリーダー実践」全学共通教育科目(後学期集中講義)の「まちづくりリーダー実践」においてSDGs関連のテーマを取り上げた。

「イノベーションマネジメント論」専門科目(後学期)の「イノベーションマネジメント論」において、低温廃熱を想定した蓄熱材の環境を考慮した活用方法について取り上げた。

・【森部絢嗣准教授】

【授業】

・「資源マネジメント論」社会システム経営学環の専門選択科目。の資源の基礎的特性や歴史性を知る。また資源利用の実態や派生する文化や社会等を理解した上で、資源が持つ潜在的可能性や今後の持続可能な社会を実現する仕組みについて議論する。フィールド実習では揖斐川町に行き、地域資源がどのように点在し利用されているのかを確認する。その後、グループワークにて資源の実態について調べ、発表を行った。

・「デザイン思考序論」自然科学技術研究科の必須科目。毎年440名ほどが履修する。オンデマンドとオンライングループワークをTeamsで実施し、デザイン思考について学ぶ。教員は川瀬真弓助教とわたしである。

・「観光デザイン実習(フィールドワーク実践)」社会システム経営学環のデザインプログラム。観光事業と観光が生み出す価値、地域ブランドの構築とマーケティング手法を学び、岐阜県における観光産業を理解する)をさらに深めるため、観光による地域づくりの視察および対象となる地域の観光事業者と連携してフィールドワークを行い、観光による地域づくりを目的に、実際にターゲット層を想定した上で持続可能となる観光振興策(ツアー)の提案を学生が行い、高校生を対象としたバスツアーを実行した。

・「フィールド科学基礎実習」応用生物科学部1年生の授業で、高山試験地にて1泊2日の実習を行い、野生動物を知る道具類をもちいて野生動物の捕獲などを教えた。またそれらの内容を発表会で紹介した。

・「教養の環境学(生物の多様性と人間社会)」全共科目の教員5名によるオムニバス。学生は60名ほど。自分たちの身の回りにどのような生き物がいるのか、それらはどのように進化してきたのか、そしてそれらは自分たちの生活にどのような関係を持っているかを理解する。このような理解に基づいて生物多様性の重要性と現状を理解し、将来に向けてのあり方を論じる能力を身に付ける。担当は4. 野生動物の多様性, 5. 野生動物の保全と資源利用, 野生動物と生きる, である。

・「専門演習Ⅲ」地域資源に関する専門書籍および論文を読み、発表を行う。また野外調査の手法を学び、実践する。ゼミでは応用生物科学部の学生と共に研究に関する議論を行った。

・「社会システム経営学特論」学院M1に地域デザインとシステム思考(森部)として、鳥獣問題をはじめとした地域の課題や取り組みについて講義した。

・「卒業研究, 修士」応用生物科学部2名の卒論指導および自然科学技術研究科修士2年2名の指導を行った。

【研究会等】

・「ぎふ標本作製研究会」岐阜県博物館と連携した、野生動物の標本を作製して、保存するぎふ標本作製研究会「しにものくらぶ」を8回開催した。

・「観光デザイン実習(フィールドワーク実践)」

社会システム経営学環のデザインプログラム。観光事業と観光が生み出す価値、地域ブランドの構築とマーケティング手法を学び、岐阜県における観光産業を理解する)をさらに深めるため、観光による地域づくりの視察および対象となる地域の観光事業者と連携してフィールドワークを行い、観光による地域づくりを目的に、実際にターゲット層を想定した上で持続可能となる観光振興策(ツアー)の提案を学生が行い、高校生を対象としたバスツアーを実行した。

・「グローバルリーダー実践Ⅱ」

フエ大学との観光に関する共同オンライングループワークを開催し、日本の若者をフエに誘致するためのツアープランを学生に考えてもらった。また3月にはフエで実際にツアーの検証を実施する。

・「地域デザイン論」

社会システム経営学環の専門選択科目。地域に関して市町村史を用いて、歴史性に考慮しつつ、様々な視点から地域を考察し、新たなデザインを立案する。

・「社会システム経営入実践」

本講義は5名の教員が各専門の講義を行い、その後、地域の現場を視察し、その課題を見つける。社会システムの発展に寄与する仕組みと経営戦略について理解し、新たな地域の利用法について提案する。

・「農業経済学・経営学入門」

以下の2つの講義を行った

11. 野生動物被害から守る農業(森部)

12. 地域資源を活用した農業デザイン(森部)

・「専門演習Ⅱ・専門演習Ⅳ(森部)」

地域資源に関する専門書籍および論文を読み、発表を行う。また野外調査の手法を学び、実践する。ゼミでは応用生物科学部の学生と共に研究に関する議論を行った。

・「デザイン思考トレーニング」

自然科学技術研究科の選択科目。例年学年全員約20名程度の学生が受講し、デザイン思考に関わる応用をグループワーク形式で実施する。

・「卒業研究, 修士」

社会システム経営学環2名, 応用生物科学部2名の卒論指導および自然科学技術研究科修士2年3名の指導を行った。

・【奥岡桂次郎准教授】

「情報処理演習」

大学での4年間で必要となる情報処理及びデータサイエンスに関する能力の基礎を涵養した。特に、実習で利用度合いの高いアンケート手法について、科学的な視点に基づく方法論を体験する工夫をし、教育全体の水準向上に務めた。

・【周涵准教授】

【授業】

「社会システム経営学特論」データリサーチとシステム思考に関する講義を行った。

「データリサーチ特論」データリサーチの基礎に関する講義を行った。リサーチデザイン、データの収集・分析手法、結果のまとめ等を教授した。

「実践マーケティングリサーチ」

現代のビジネス環境において必要とされるリサーチスキルに関する講義を行った。簡易データセットを用いた演習を通じて、実践的なデータ分析や、結果の解釈、結論の導出、提言の提示など一連のプロセスと、現場で活用できるスキルを教授した。

「マーケティングリサーチ」

マーケティングリサーチの基本的な知識とスキルに関する講義を行った。マーケティングリサーチの計画立案からデータ収集、分析、結果の解釈に至るまでの一連のプロセスを体系的に教授した。

「マネジメント特講」

企業経営に不可欠となるマーケティングとそのリサーチに関する技術に関する講義を行った。

「観光デザイン実習」

中部山岳国立公園および高山市街地を対象にフィールドワークならびに見学を行い、観光ツアーの準備および実施に関する講義を実施した。

「マネジメント実践実習」

「秋の高山祭」を題材として取り上げ、地方の課題解決について実習講義を2026年1月23日から実施する。

【学外授業】

・「公開講座」「持続可能な地域づくりのために若者ができること」というテーマで、地域の活性化や地域づくりに関心のある高校生に向けた講義を行った。「開催場所：柳ヶ瀬グラッスル35、開催日：8月9日」。

・「オープンカレッジin東美濃」3名の学環生を恵那市岩村に引率し、「オープンカレッジin東美濃」のイベントに参加した。そして、学環生と恵那市高校生と一緒にフィールドワーク・ワークショップに参加した。岩村城下町に関する観光課題解決案を提案し、学生の学習と地域理解を「地域ラボ勉強会」

「中国語で、おもてなし」というテーマで、講義を3回実施した。第1回タイトル：「中国人と日本人の文化的違いを知ろう」；第2回タイトル：「あなたのお店に来店した時に使える中国語のフレーズを学ぼう」；第3回タイトル：「中国人の方に喜ばれそうな岐阜の観光スポットを探そう」。「開催場所：ネオワーク岐阜、開催日：5月20日、6月17日、7月22日」。

・「加茂高等学校進路相談会」

2名の学環生を岐阜県立加茂高等学校に引率し、岐阜県立加茂高等学校の高校生16名と保護者の方7名に対して学環の紹介を行った。「開催場所：岐阜県立加茂高等学校、開催日：7月14日」

・【川瀬真弓助教】

【授業】

「技術表現法」工学部専門基礎科目（必修）の「技術表現法」において、問題解決の手法、発想の手法について学び、SDGsに配慮した技術社会の創出や、持続可能な商品・サービス開発に関する講義ならびに演習を行った。

「初年次セミナー」工学基礎科目（必修）の「初年次セミナー」において、レポートの書き方に関する講義を行った。

「コミュニケーションデザイン論」社会システム経営学環（必修）「コミュニケーションデザイン論」において、協働で問題解決するときに必要なファシリテーションに関する講義ならびに演習を行った。

「デザイン思考特論」社会システム経営学院において、デザイン思考の基礎理論、考え方、演習を実施した。

「初年次セミナー（図書館ツアー）」教育推進・学生支援機構学修支援部門員として、図書館ツアーの運営・引率を実施した。

「マネジメント活動実習」

次年度の「情報誌2025シャケカン」づくりにむけ、後学期の授業を実施した。

「デザイン思考論」

大学院自然科学技術研究科（選択科目）「デザイン思考トレーニング」において、問題解決過程構造の理解、認知科学的な理論について講義し、演習活動を実施した。

「デザイン思考論」

社会システム経営学環2年生（必須科目）「デザイン思考論」において、ワークショップデザインの理論ならびに企画・実践演習、デザイン思考（スタンフォード式）の理論習得、問題解決構造の理解・実践演習、日経デザインの記事から、現在採用されているデザインの考え方について講義し、演習に取り組んだ。

「Special Lecture 1・2」

自然科学技術研究科修士AGP生必須科目。講師の支援として、授業実践、運営支援を実施した。

【講演】

「岐阜県教育委員会」

岐阜県教育委員会の担当課から依頼があり、「情報科」教員への6年目研修を担当した。「問題解決」ならびに「デザイン思考」を用いたプログラミングについて、講習を実施した。講習のテーマを農業DXとした。

「岐阜県立飛騨神岡高等学校へ出前講義」

課題探究活動の指導内容を向上させるための講義の実施50分間

「名古屋大学大学教育改革フォーラム」

名古屋大学主催の大学教育改革フォーラム(3月)へ登壇依頼があり、登壇者間による打ち合わせをオンラインで実施し、3/7のイベント当日、パネルディスカッションに登壇した。

岐阜大学看護学部 R9年度博士後期課程開講に向け、FD研修の依頼があり「現場と研究をつなぐ共創デザイン — 共感から始めるデザイン思考のすすめ —」と題して実施する。

【メディア出演】

中日新聞 日曜版、岐阜大学の教育コラムへの執筆

【学外授業】

「岐阜県立長良高等学校探究活動」

長良高等学校全2年生を対象として、課題探究活動を推進する講義を実施した。

「岐阜県立飛騨神岡高等学校」

課題解決型学習に関する出前講義の依頼を受け、ヒアリング、企画後、オンライン出前講義を実施した。依頼してよかったと言っていただけやりがいを感じた。

「大谷高等学校」

デザイン思考に関する出前講義の依頼を受け、京都・大谷高等学校にて出前講義を実施した。

岐阜県立長良高等学校

6月から取り組み、11月から探究活動のまとめを小論文の目次として構想を立てたものに対し、大学院生、大学生とともにグループ指導した。

「静岡・星陵高等学校」

課題解決型学習に関する出前講義の依頼を受け、ヒアリング、企画後、オンライン出前講義を実施した。依頼してよかったと言っていただけやりがいを感じた。

「Advanced Workshop Design」

工学部大学院自然科学技術研究科Advanced Global Program(必須科目)「Advanced Workshop Design」において、環境工学、再生可能エネルギーの普及、サーキュラーエコノミーシステム、ならびに、デザイン思考の理論を英語で講義し、演習課題を課しワークショップ活動を実施した。

「マネジメント・デザイン思考特論」

刃物学リーディング人材育成プログラムの試行授業として「問題解決構造の理解」、「デザイン思考とシステム思考」の講義ならびに演習を実施した。

「Design Thinking Training Workshop」

工学部大学院自然科学技術研究科Advanced Global Program(必須科目)「Design Thinking Training Workshop」において、「Advanced Workshop Design」で学んだこと活用する演習課題を課し、実践的なプロトタイプ制作を制作する活動をとおして「人と生態系に配慮した環境システムのデザイン」として循環型経済を支援する資源回収箱を製作した。

「岐阜市商工会議所」

女性経営者の集まりによる女性部会にて、デザイン思考と組織教育について講演した。

「瑞浪経済同友会」

瑞浪市の経営者の集まりによる瑞浪経済同友会にて、デザイン思考と組織教育について講演した。

「DG TAKANO」

産学連携主任の日比様から、DG TAKANOの取材に同行した。担当者・日比の要請により、また、専門分野のデザイン思考について、CEOにお伺いすることができた。

・各教員が実施している環境に関する研究(環境評価、環境保全、環境修復等)を推進する。
・生態系保全、環境保全対策で不可欠な野生動物の保護管理・鳥獣害対策に関する研究を推進する。

・【高木朗義教授】

【研究】

「科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 基盤研究(A)」

社会と気候の変動を考慮した沿岸域の革新的高潮リスク評価と適応戦略の立案手法の開発
「土木計画学研究・講演集」

豪雨災害時の住民避難行動における「避難した／しなかった／できなかった」の比較

「第44回日本自然災害学会学術講演会講演概要集」

豪雨災害時の住民避難行動における「避難しなかった」と「避難できなかった」の比較。

機械学習モデルを活用した避難行動改善策に関する考察。

「自然災害科学, Vol.44, 特別号」

豪雨災害時の住民避難行動における「避難しなかった」と「避難できなかった」の比較。

「Intelligence, Informatics and Infrastructure, 6(1)」

Estimation of Population Exposure to Flood Risk by Using a Geospatial Information System Overlay of Mobile Spatial Statistic (MSS) Data, Flood Inundation Map, and Land Use Zone

【学会】

特定非営利活動法人国際総合防災学会 理事

日本自然災害学会 理事・評議員

土木学会土木計画学研究委員会・海岸工学委員会沿岸沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会

委員

土木学会土木計画学研究委員会社会課題解決のためのゲーミフィケーション活用研究小委員会 委員

【メディア出演】

FM岐阜 MORNING SLPASH「防災ワンポイントレッスン」

岐阜放送(ぎふチャン) ラジオ番組「たっぷりモーニング」

中部経済新聞社 コラム「オープンカレッジ」

岐阜新聞デジタル【ぎふ高校探究】探究学習をしないと損をする!? 大学や社会が求める「学ぶ姿勢」に直結岐阜大学・高木教授は「絶対に必要」

・【加藤厚海教授】

【研究会等】

「組織学会中部部会」地場産業と祭にかんする研究報告を行った。

「日本経営学会」長浜の地場産業と祭にかんする研究報告を行った。

・【李侖美准教授】

【研究】

科研関連 養老町、山口県で飼料用米調査を実施した。

科研関連 西濃農林事務所訪問

学会 食農資源経済学会に参加

JA全中 JA全中と研究に関する打ち合わせ

学会の理事会 食農資源経済学会の理事会

卒業研究 岐阜県庁の農業振興課訪問、岐阜県庁農業経営課訪問

飼料用米ヒアリング調査 (株)デイリーファム、旭市飼料用米生産者協議会

研究発表交流会 岐阜県農林業教育システム研究発表交流会

【研究会等】

農業・農協問題研究会 農業・農協問題研究会に参加「WEB会議5月24日」

【審議会等】

岐阜県生協連合会 岐阜県生協連合会50周年記念式典

・【柴田仁夫准教授】

「学会賞受賞」日本インターンシップ学会 榎本記念賞(秀逸なインターンシップ)受賞

(「課題解決型実習から課題設定型実習へー往還型学習によるキャリアアンカーの確立」)

「学会誌査読」地域活性学会「地域活性研究(Vol.24)」査読(令和7年11月)

書籍(共著)[新版]はじめて学ぶマーケティング 現代マーケティング戦略と社会、大月書店

【論文(紀要)】

・2次元と3次元が融合した新しいアイドルのファンツーリズムの可能性—アイドル, アニメ推しと「22/7」推しの比較分析から—『横浜市立大学論叢(人文科学系列)』第77巻第1号。

・2次元と3次元が融合した新しいアイドルのファンツーリズムの実態—デジタル声優アイドル

「22/7」のカントリーライブの事例から『横浜市立大学論叢(人文科学系列)』第77巻第1号。

・「経営者の語り」にみる横浜型地域貢献企業認定制度—制度が地域企業の行動に与えた影響—『横浜市立大学論叢(人文科学系列)』第77巻第2号。

【報告書(紀要)】

・学生目線による中小製造業の統合報告書(案)の作成—(株)プロスパーへの2025年度ビジネスデザイン実習最終報告から—『地域志向学研究』Vol.11。

・「マーサ21次期リニューアル基本構想に向けた提案—カワボウ(株)への2025年度ビジネスデザイン実習最終報告から—『地域志向学研究』Vol.11。

【学会発表】

・「「推し活」を媒介としたディステーション・マーケティングによる関係人口拡充の可能性—デジタル声優アイドル「22/7」の根室・札幌のイベント分析から」2025年11月16日

・「革新的プロダクトが直面する市場浸透のジレンマ」2025年10月5日

【研究会等】

・「産業研究会」「中小企業診断士シンポジウム」

【研究】「企業調査」「イベント調査」

【調査】インタビュー調査

【メディア出演】北海道新聞

【学会】「日本マネジメント学会」「日本経営倫理学会」「経営哲学学会」「地域活性学会」

【コンサル】東海理研株式会社

【学外授業】模擬講義

・【森部絢嗣准教授】

【研究】

「共同研究(あいおいニッセイ同和損害保)」あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「自動車保険データを用いた野生動物関連事故の実態に関する研究」に関する共同研究が始まった。

自動車保険に付随する事故データを分析することにより、野生動物と自動車との交通事故発生時における人間側の実態解明およびそれに伴う経済的損失が算出され、新たな知見を取り入れた事故対策を目指す。

「助成金(岐阜大学地域交流協力会)」地域との技術交流や共同研究を推進するため、岐阜大学地域交流協力会から支援される。活動は「地域資源活用研究会」として地域住民、企業、市民団体、大学等が協働し、新たな地域資源の創出と持続可能な利用に向けて以下の3点を実践する。

①地域資源が抱える現状の整理と課題、今後の可能性について情報交換会を開催する。

②地域資源の利用と保存に対し、新たなステークホルダーを取り入れるためにワークショップ等を開催する。

③緊急性の高いシカ対策について、現地で持続可能な仕組みを検討し、協働体制を構築するための試行をする。

「科研費研究」野生動物のコミュニティに出現した薬剤耐性菌の蔓延機序の解明と危険度分析

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 2022年4月 - 2026年3月

浅井 鉄夫, 安藤 匡子, 蒔田 浩平, 臼井 優, 玉村 雪乃, 森部 絢嗣

「科研費研究」地域産業における制度・慣行と地域社会の持続性に関する研究

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 基盤研究(B) 2021年4月 - 2026年3月

福嶋 路, 加藤 厚海, 柴田 淳郎, 柴田 仁夫, 松嶋 健, 小沢 貴史, 森部 絢嗣, 相馬 敏彦

「岐阜大学大学院連合農学研究科 令和7年度連合農学研究科研究競争力強化支援事業」

オコジョの地域適応と生息環境の比較生態学的研究 2025年6月 - 2026年3月

「若手新分野創成研究G ユニット(分担)」

岐阜大学では、この度、異なる研究領域の若手研究者が力を合わせて、独創的な発想のもとで、将来的に新分野の創成につながるような、学際的な研究に取り組むことを支援するため「超種間動物学開拓ユニット」を応用生物学部宮脇慎吾准教授(代表)、同学部正谷達膳准教授とともにプロジェクトを進めている。今年度、岐阜県博物館と連携し、ぎふ標本作製研究会を立ち上げ、標本作製人材の育成と研究試料収集体制の構築を強化した。

「CENSS関連プロジェクト」

流域圏エコシステムにおける日本酒産業の社会・経済的貢献と文化形成(代表:森部絢嗣)で、岐阜県食品科学研究所および岐阜県酒造組合連合会と連携し、岐阜圏域の酒文化の継承と発展に寄与すべく、調査研究を進めている。

「CENSS関連プロジェクト」

地域住民との協働による資料の収集・保存・活用のためのアーカイブプラットフォーム(代表:小山真紀)に参画し、春日森の文化博物館や飛騨みやがわ考古民俗館の資料のデジタルアーカイブを進めている。

「学術コンサル」

飛騨市鳥獣被害防止対策協議会「AirTagや係留気球等を用いた中山間地におけるニホンザル対策事業の実施及び効果検証」120万円

「寄附金」

株式会社ゼニスヘルスケア(代表取締役 西脇 誠 様)より、30万円のご寄附

「論文」

・Keisuke NAKAGAWA, Shingo MIYAWAKI, Junji MORIBE, Tatsunori MASATANI, Taizo SAITO, Yasuhiro TAKASHIMA. 2025年7月. Infection of animal coronaviruses into a bat cell line from the kidney of *Pipistrellus abramus*. *Journal of Veterinary Medical Science* 87(9) 1107-1111

・小丸 奏, 伊藤健吾, 森部絢嗣, 安藤正規, 乃田啓吾. 2025年6月. 田面状態がケリの営巣場所の選好性及繁殖に与える影響. *農業農村工学会論文集* 93(1) 45-52

・Toshihiro Tokiwa, Keita Sakashita, Saki Miura, Hisashi Yoshimura, Shiro Matsuo, Toshiaki Yamamoto, Rie Maruko, Junji Moribe, Yasuhiro Takashima, Ayako Yoshida, Kayoko Matsuo. 2025年4月. A vascular filarial nematode in sika deer (*Cervus nippon*): Morphological and molecular characterization of *Elaeophora* (Nematoda: Onchocercidae) in Japan. *International Journal for Parasitology: Parasites and Wildlife* 27 101068-101068

「口頭発表」

・市販鶏肉及び野生カモ類におけるカンピロバクターの分布と薬剤耐性

大屋 賢司, 渡辺 麻衣子, 森部 絢嗣, 小林 由美, 山口 剛士, 林 克彦, 西角 光平, 石原 加奈子, 大西 貴弘

第168回日本獣医学会学術集会 2025年9月3日

・ニホンジカで流行する *Elaeophora* 属線虫(オンコセルカ科)に関する研究

常盤 俊大, 坂下 圭太, 吉村 久志, 松尾 史朗, 丸子 理恵, 山本 俊昭, 森部 絢嗣, 高島 康弘, 吉田 彩子, 松尾 加代子 第168回日本獣医学会学術集会 2025年9月3日

・STINGのコウモリ型変異がHSV-1の増殖制御に及ぼす影響

石田 碧, 宮脇 慎吾, 正谷 達磨, 中川 敬介, 森部 絢嗣, 齋藤 大蔵, 高島 康弘

第168回日本獣医学会学術集会 2025年9月3日

・近代日本と揺れる毛皮獣-史料と統計でたどる毛皮産業の動向- 安藤日菜子, 森部絢嗣

横浜国立大学総合学術高等研究院生物文化多様性ラボセミナー 2025年8月28日

・カメラトラップによる小型哺乳類の生息調査法とその応用可能性 森部 絢嗣, 安井 萌実

日本哺乳類学会2025年度大会 2025年8月25日

「ポスター発表」

・保険会社連携による研究体制構築とデータ運用

森部絢嗣, 永藤明憲, 勝木俊行, 片桐 未結, 内田夢月, 粕谷 健人, 間島 唯, 西林 正人, 小林

ひなた

日本哺乳類学会2025年度大会 2025年8月23日

・カメラ撮影を活用したカラスのねぐら調査法の試行 加納彩海, 酒井泰和, 森部絢嗣

日本鳥学会2025年度大会 2025年9月12日

・地方中枢都市におけるネコとその他野生哺乳類の関係 白木 麗, 森部 絢嗣

日本哺乳類学会2025年度大会 2025年8月23日

・岐阜市における自由行動ネコの食性 堀江 勇斗, 杉山 美千代, 浅井 鉄夫, 齋藤 大蔵, 只野 亮, 森部 絢嗣

日本哺乳類学会2025年度大会 2025年8月23日

・ホンデオコジョの分布実態と生息適地環境 安井 萌実, 野紫木 洋, 森部 絢嗣

日本哺乳類学会2025年度大会 2025年8月23日

・自動車保険データから読み解く野生動物関連事故の経済的損失

片桐 未結, 内田 夢月, 勝木 俊行, 粕谷 健人, 間島 唯, 西林 正人, 伊藤 紗香, 小林 ひなた, 奥

岡 桂次郎, 森部絢嗣 日本哺乳類学会2025年度大会 2025年

【学会】

委員 日本哺乳類学会, 哺乳類保護管理専門委員会 レッドデータ作業部会(トガリネズミ科担当)

委員 日本哺乳類学会, 和文誌編集委員会委員

査読(哺乳類科学) 査読した。

【研究会等】

【地域創生プロジェクト】

No.11「人獣共通感染症の監視と制御が実現する野生動物との持続的共生」

No.17「感性工学×デザイン思考による共創モデルの構築-生成AI時代における対話と創造の新展開-」

No.51「つながるTokai, つくる価値」

No.54「自然と共生する持続的な地域社会の実現」

【論文】

・Diversity of genes encoding immune-related GTPase B2 protein, an inherited element responsible for resistance against virulent *Toxoplasma gondii*; strains, among wild *Mus musculus* in local area of Japan

Nikolai D SHAMAIEV, Tatiana BATANOVA, Yuki IWATAKE, Junji MORIBE, Hisako KYAN, Tatsunori MASATANI, Yuko KITAMURA, Keisuke NAKAGAWA, Taizo SAITO, Yasuhiro TAKASHIMA

Journal of Veterinary Medical Science 86(10) 1056-1062 2024年

・Diversity of piroplasma species in small rodents and ticks captured in suburbs of Gifu City, central Japan

Yuka MATSUDA, Misuzu OKAJIMA, Yuji FUJII, Fumiki IZUMI, Maho R TAKAHASHI, Yuki IWATAKE, Kyoko SAITO, Yasuyo TERASHI, Junji MORIBE, Yasuhiro TAKASHIMA ...

Journal of Veterinary Medical Science 87(1) 43-51 2025年

【論文Top10%ジャーナル】

・An Assessment of the Diversity and Seasonal Dynamics of Small- and Medium-Sized Mammals in Pittachhara Forest, Bangladesh, Using a Camera Trap Survey

Raf Ana Rabbi Shawon, Md. Matiur Rahman, Md Mehedi Iqbal, Mahfuz A. Russel, Junji Moribe *Animals* 14(24) 3568-3568 2024年12月10日

・Knowledge, Perception, and Practices of Wildlife Conservation and Biodiversity Management in Bangladesh

Raf Ana Rabbi Shawon, Md. Matiur Rahman, Samuel Opoku Dandi, Ben Agbayiza, Md Mehedi Iqbal, Michael Essien Sakyi, Junji Moribe

【科研A分担】

・野生動物のコミュニティに出現した薬剤耐性菌の蔓延機序の解明と危険度分析

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 2022年4月 - 2026年3月

浅井 鉄夫, 安藤 匡子, 蒔田 浩平, 臼井 優, 玉村 雪乃, 森部 絢嗣

【科研B分担】

地域産業における制度・慣行と地域社会の持続性に関する研究

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 基盤研究(B) 2021年4月 - 2026年3月

【科研C代表】

黒焼文化の再考と可能性探索

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2022年4月 - 2025年3月

森部 絢嗣, 山口未花子

【助成金(代表)】

岐阜県産地域資材を活用したクラリネットの新たな音色の創出

一般財団法人越山科学技術振興財団 研究助成 2023年10月 - 2024年11月

【共同研究(NSTG社)】

エヌエスティ・グローバルリスト株式会社と「中山間地域のデータ通信未整備「空白エリア」向け長距離通信プライベートLoRa商品開発と実証試験」に関する共同研究が始まった。

【共同研究(あいおいニッセイ同和損害保)】

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「自動車保険データを用いた野生動物関連事故の実態に関する研究」に関する共同研究が始まった。

自動車保険に付随する事故データを分析することにより、野生動物と自動車との交通事故発生時における人間側の実態解明およびそれに伴う経済的損失が算出され、新たな知見を取り入れた事故対策を目指す。

【若手新分野創成研究G ユニット(分担)】

岐阜大学では、この度、異なる研究領域の若手研究者が力を合わせて、独創的な発想のもとで、将来的に新分野の創成につながるような、学際的な研究に取り組むことを支援するため「超種間動物学開拓ユニット」を応用生物学部宮脇慎吾准教授(代表)、同学部正谷達膳准教授とともにプロジェクトを進めている。今年度、岐阜県博物館と連携し、ぎふ標本作製研究会を立ち上げ、標本作製人材の育成と研究試料収集体制の構築を強化した。

【オープンアクセス加速化事業(文部科学省補助金)】

東海国立大学機構として採択されたオープンアクセス加速化事業(文部科学省補助金)によるハイインパクトジャーナルへのオープンアクセス論文に対する支援において、論文2本分(84万円)の支援を受けた。

【助成金(岐阜大学地域交流協会)】

地域との技術交流や共同研究を推進するため、岐阜大学地域交流協会から支援される。活動は「地域資源活用研究会」として地域住民、企業、市民団体、大学等が協働し、新たな地域資源の創出と持続可能な利用に向けて以下の3点を実践する。

①地域資源が抱える現状の整理と課題、今後の可能性について情報交換会を開催する。

②地域資源の利用と保存に対し、新たなステークホルダーを取り入れるためにワークショップ等を開催する。

③緊急性の高いシカ対策について、現地で持続可能な仕組みを検討し、協働体制を構築するための試行をする。

【学術コンサル】

総務省不感地帯解消とICTツール活用による林業の就業環境改善

総務省 地域デジタル基盤活用推進事業(実証事業)において、代表者であるOKBより、学術コンサルとして300万円を受託

【ポスター発表】

・バングラデシュ・チッタゴン丘陵地における小型・中型野生哺乳類の生息状況評価

Raf Ana Rabbi Shawon, Md. Matiur Rahman, Md Mehedi Iqbal, 森部絢嗣

第10回山岳科学学術集会第29回「野生生物と社会」学会合同大会 2024年12月14日

・衛星通信とスマート家電製品を活用した安価な遠隔捕獲システムHuntBot の実証

森部絢嗣, 櫻井優一, 三輪哲司

第10回山岳科学学術集会 & 第29回「野生生物と社会」学会 合同大会 2024年12月14日

【哺乳類学会編集員】

・日本哺乳類学会 和文誌編集委員会委員 として論文を審査

・【周涵准教授】

【研究】

・「査読付き国際共著論文」研究題目名:「“Domino effects on eWOM?” understanding consumers’ dynamic perceptions of online travel reviews and perceived travel risk: A three-stage longitudinal approach」。査読を経て、国際ジャーナル「Electronic Commerce Research and Applications」に掲載された。

・「査読付き国際ジャーナル論文」研究題目名:「Understanding the Adverse Effects of Enterprise Social Media on Employees via FoMO」。査読を経て、国際ジャーナル「Journal of Economics Marketing, and Management」に掲載された。

【学会】

・「国際学会発表「TTRA Asia Pacific Annual Conference 2025」国際学会「TTRA Asia Pacific Annual Conference 2025」において口頭発表する予定。口頭発表のテーマ:「Exploring Social Media Marketing Strategies for Lesser-Known Local Destinations」。「開催場所: Kathmandu, Nepal, 開催予定日: 12月6日 - 12月9日」。

- ・国・地方自治体と連携して実施している環境活動を推進する。
- ・環境に関する研修会、公開講座
- ・環境に関する講演、出前授業
- ・環境に関する共同研究
- ・環境に関する学外委員等

・【高木朗義教授】

【学外授業】

「岐阜県立長良高等学校 出前講義」協働と共創のまちづくり
 「岐阜県私立高山西高等学校 出前講義」経済・経営(社会システム経営学環の紹介)
 「鹿児島県立沖永良部高等学校 出前講義」協働と共創のまちづくり
 「岐阜県立大垣北高等学校 出前講義」文理融合型／新たな時代に向かう学部
 「岐阜県立下呂看護専門学校 授業」災害看護・国際看護」「災害看護・国際看護」水害・土砂災害、地域における防災、被災地の様子や避難所

【講演】

「本巣市ジュニア防災リーダー養成講座」本巣市内の4つの中学校の生徒に対し、2日間の防災講座を行った。
 「海津市防災リーダー(防災士)養成講座」「災害情報の活用と発信」について講義を行った。
 「岐阜市防災フェアinマーサ21」「減災教室」というテーマで講演した
 「川原町まちづくり会総会 講演」「古い町並みの防災について」という演題で講演した
 「大阪・関西万博「防災万博」」トークセッション「防災メタバース×AI」
 「日本自然災害学会 ホンネで語ろう「ぼうさい」イブニングカフェ」【テーマ】「能登半島地震での取り組みを中心としたコーディネーターの全国互助ネットワーク」をコーディネートした
 「若鮎倶楽部 第41回例会」「共創のまちづくり」という演題で講演した
 「日本自然災害学会 第44回学術講演会 スペシャルセッション」「災害のフェーズ転換と地域の間支援:人口減少時代の復興と持続可能性を支える仕組みとは～休眠預金と人的リソースによる新たな地域再生の可能性～」をコーディネートした
 「行橋市防災フェス」親子で楽しむ・遊んで学べる防災フェス「世界一受けたい減災教室」というテーマで講演した
 「東海北陸社会教育研究大会岐阜大会」「これからの「学び」について考える」という演題で記念講演した

【審議会等】

国土交通省中部地方整備局 総合評価審査委員会岐阜県地域部会 部長
 国土交通省中部地方整備局 道路協力団体審査会 副委員長
 国土交通省中部地方整備局 木曾川流域委員会 委員
 岐阜県清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審査会 委員
 岐阜県汚水処理施設整備構想有識者会議 座長
 岐阜県建設業広域BCM認定制度運用委員会 委員長
 岐阜県除雪研究会 会長
 岐阜県教育委員会学校安全表彰被表彰候補校推薦審査会 委員
 岐阜県教育委員会学校安全表彰推薦に係る岐阜県審査委員会 委員
 岐阜県教育委員会学校安全総合支援事業 委員
 岐阜市住民自治推進審議会 会長
 飛騨市総合政策審議会 会長
 大垣市景観遺産審議会 会長代理
 郡上市防災会議 委員
 郡上市国民保護協議会 委員
 中津川市リニア岐阜駅周辺デザイン会議 会長
 関市立地適正化計画推進協議会 会長
 長良川流域環境ネットワーク協議会 顧問
 ぎふPPP/PFI推進フォーラム 代表
 飛騨市ふるさと種蔵村 副村長

・【後藤尚久教授】

【審議会等】

岐阜市上下水道事業経営審議会 岐阜市の水道事業の在り方について審議。
 養老町上下水道事業経営審議会 養老町の下水道事業の在り方について審議。
 岐阜市指定管理評価委員会 経済部所管の指定管理者の評価について審議。
 養老町消防審議会 養老町の消防団の在り方について審議。
 岐阜市行財政改革推進会議 岐阜市の行財政改革について審議。

・【三井栄教授】

【審議会等】

各務原市PFI事業者審査委員会
 愛知県地価調査会議
 岐阜県事業評価監視委員会
 岐阜県森林審議会

社
会
連
携

観光振興検討委員会
岐阜県内水面漁場管理委員会
岐阜県産業廃棄物処理施設等意見調整委員会
瀬戸市企業立地審査会
兵庫県景気動向懇話会
岐阜県都市計画審議会

・【出村嘉史教授】

【審議会等】

「岐阜県建築審査会」岐阜県庁にて岐阜県建築審査会に出席し、案件を審議した。
「甲賀市紫香楽宮跡遺跡調査整備委員会」甲賀市紫香楽宮跡遺跡調査整備委員会の委員として、調査報告書の確認や討議を実施。
「甲賀市史跡水口岡山城保存活用計画検討委員会」甲賀市史跡水口岡山城保存活用計画検討委員会の委員として、調査報告書の確認や討議を実施。
「一宮市デザイン懇談会」一宮市デザイン懇談会の座長として、同懇談会に出席し、検討・議論を複数回行った。
「美濃加茂市都市計画審議会」美濃加茂市都市計画審議会の会長として、同審議を行った。

【学会】

論文査読 都市計画学会、土木学会の複数の論文投稿に対して査読を行った。

論文査読 都市計画学会、土木学会の複数の論文投稿に対して査読を行った。

【研究会等】

木曾川研究会 木曾川流域の営み・文化を研究する研究グループの活動を実施した。
ギフナイト 岐阜県下の企業や団体が集まる連携啓発イベント「ギフナイト」(岐阜県・FabCafe Nagoyaが主催)で登壇し、岐阜県の産業基盤について議論した。

【講演】

岐阜県フォーラム 岐阜県主催のまちなかを考えるフォーラムで基調講演を行った。

【研究】

遊覧都市プロジェクト会議 岐阜市役所・都市再生推進法人・岐阜大学で会議体を組織した。
諸政策にまたがる市街地の問題を、まとめて研究・議論する場所を提供。

【公共事業】

総合計画市民ワークショップ 岐阜市企画部未来創造研究室が主催する市民ワークショップを同部署とともに企画・進化した。結果は総合計画の更新に寄与することになる。
岐阜市エリアプラットフォームの形成 柳ヶ瀬のエリアプラットフォーム形成事業における事務業者の選定と、次年度以降の体制づくりに関して議論を行った。
とみぱーくのシンポジウム 土木学会デザイン賞を今年度受賞した「とみぱーく」について、受賞報告を富加町で実施。今後の管理運営の仕方について議論。

・【篠田朝也教授】

「岐阜県営水道事業アドバイザー」

岐阜県の県営水道に関するアドバイザー業務を担当した。

「各務原市新総合体育館・総合運動防災公園整備民間活力導入アドバイザー」

各務原市が建設予定の新総合体育館・総合運動防災公園の整備に関連する民間活力導入についてのアドバイザー業務を実施した。

「公募型プロポーザル評価委員会 委員長」

各務原市新総合体育館総合運動防災公園整備運営事業に係るモニタリング業務委託の公募型プロポーザル評価委員会の委員長を務めた。

「きづなPARKアドバイザー」

株式会社フォーバルによる中小企業ESGをサポートするきづなPARKプラットフォームのアドバイザーに就任した。

・【李侖美准教授】

【講演】

「岐阜県協同組合を考える集い」にて報告

【審議会等】

岐阜県協同組合間提携推進協議会に参加。地域貢献活動(岐阜公園清掃活動)をおこなう。
岐阜県協同組合間提携推進協議会 岐阜県協同組合提携推進協議会幹事会に参加
卒業研究 岐阜県庁農産物流通課訪問

・【山縣准教授】

【学外授業】

「公開講座」

高校生向けの公開講座を開催した(日時:8月9日/場所:岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設 ウゴクテ/テーマ:持続可能な地域づくりのために若者ができること)

【審議会等】

「市立大学新設に向けた外部アドバイザー」

岐阜市立女子短期大学事務局より新大学設立にあたっての外部アドバイザーとして、カリキュラム、部局の名称等についてのアドバイスをを行った。

	<p>・【奥岡桂次郎准教授】 「愛知県環境審議会廃棄物部会」愛知県の廃棄物・資源循環について、部会の議論に委員として参加した。</p> <p>・【周涵准教授】 【兼職】 「公益財団法人 岐阜観光コンベンション協会」岐阜市観光施策に必要なデータの収集・分析を実施した。協会内部会議に参加した。(各月4回程度活動する)。</p>
<p>そ の 他 運 営</p>	<p>・年2回のクリーンキャンパスに教職員が積極的に参加し、環境美化の意識を高め、緑地保全を推進することができた。</p> <p>・「ISO14001環境マネジメントシステム」に係る教育訓練再確認シートを定期的に記入し、自己啓発に努めた。</p> <p>・岐阜大学環境方針を常時携帯し、周知カードに各人の役割、環境保全活動を記載し、実行した。</p> <p>・昼休み時間における消灯、講義室の消灯、裏紙活用、縮小印刷など資源の再利用を促すことで、省エネルギーに関する取組をより一層推進した。</p>